

香川県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

- 香川県の公立高校入試は、自己推薦選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
自己推薦	1/26(火)・27(水)	－	2/3(水)	2/9(火)
一般	2/16(火)・17(水)	2/22(月)～25(木)	3/9(火)・10(水)	3/18(木)

- 出願は、原則1校に限ります。
ただし、2以上の小学科がある場合は、第1志望の小学科の他に、他のすべての小学科から第2志望を選択することが出来ます。
- 普通科と理数科の通学区は、原則として第1学区・第2学区に分かれています。
なお、小豆島については、全県募集のため、学区はありません。

自己推薦選抜

- 各学校の提示する「求める生徒像」を満たし、合格した場合は入学する意思が確実である受験者が対象の選抜です。
- 募集人員は各学校により決定します。（2021年度は、募集定員の5～50%の割合）また、県外からの通学者又は県内への転居者の合格者の上限人数は、各学校により定められます。
- 選抜資料

検査	①総合問題…各教科で学習したことを互いに関連付けて考える力や、それを表現する力を問う。国語・数学・英語の3教科（計45分） ②作文…内容及び時間は、実施する学校・学科の特性に応じて定める。 ③適性検査…各学校の適性に応じた内容の検査を行う。 ◆上記のうち、どの検査を行うかは各学校により決定される。
面接	①②③いずれかの検査の後、志願者全員が面接を実施する。
調査書	学習の記録（評定）の他、特別活動の記録などの記載及びその他の資料についても十分に加味する。
その他	・自己PR書（志願者全員） ・音楽科適性検査選択課題選択届出書（音楽科の入学志願者に限る）

- 上記の資料を用いて、各学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判断し、入学者の選抜を行います。

一般選抜①

- 出願した学校，課程，学科・コースを1回に限り変更することができます。
- 募集人員は，募集定員から自己推薦選抜及び併設型選抜の合格者を減じた人数です。また，県外からの通学者又は県内への転居者の合格者の上限人数は，各学校により定められます。
- 選抜資料

学力検査	国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各50点）
適性検査	各学校の適性に応じた内容の検査を行う。 ・美術科等適性検査（美術科系学科の入学志望者に限る） ・音楽科適性検査（音楽科の入学志望者に限る）
面接	志願者全員が面接を実施する。
調査書	学習の記録（評定）の他，特別活動の記録などの記載及びその他の資料についても十分に加味する。
その他	・音楽科適性検査選択課題選択届出書（音楽科の入学志願者に限る）

一般選抜②

●選抜方法

①調査書の学習の記録の評価は**220点満点**。（A+B+C）

≪内訳≫ A：1・2年の9教科の評定の合計=90点満点

B：3年の9科の評定の合計×2=90点満点

C：3年の音楽，美術，保健体育，技術・家庭の評定の合計×2=40点満点

②学力検査は各50点×5=**250点満点**。

①②の各得点合計をそれぞれの素点として，「5段階法による人数配分表」を基準とし，該当学科の志望者をそれぞれ5段階に区分します。区分された段階のうち，学習の記録の段階は縦軸に，学力検査の段階は横軸にとって，相関表を作成して学力の判定を行います。

上記から算出された学力判定の結果，その他の選抜資料に基づいて，各学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合判定して，選抜します。

※ただし，該当大学科において，第2志望者がある時は，まず，入学定員の90%に当たる人数を第1志望者から選抜し，第1次の合格者とします。

次に，残りにあたる人員を，合格者に含まれなかった第1志望者と第2志望者のうちから選抜し，第2次合格者を決定します。

最終的に，第1次の合格者に第2次の合格者を加えて，全体の合格者とします。

（大学科内に2つ以上の小学科がある場合は，割合と手順が異なります。）